



加東市

議会だより

5月臨時会・6月定例会



北はりま消防指令センター開設

北はりま消防指令センターの開設記念式典が、6月19日(木)に行われました。

平成26年7月から指令センターの運用が開始されることにより、119番の受報・出動指令等や車両情報・病院情報等の支援情報が、一括してネットワーク化が図られることで、より高度で確実な通信業務や、多様化する災害現場での対応が迅速かつ正確に行われることが期待されています。

- 5月臨時会・議決結果一覧 2
- 6月定例会 3
- 総務文教常任委員会報告 6
- 産業建設常任委員会報告 7
- 厚生常任委員会報告 8
- 議会報告会 9
- 一般質問 11
- 保育園紹介～加東市立三草保育園 16

安田丸 2期目4年間の船出、 副市長に吉田秋広氏を選任

5月臨時会

5月14日、第52回臨時会が開会された。報告1件、承認2件、人事案件同意6件、兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙では安田正義市長を選任した。

人事案件

副市長の選任に同意

吉田秋広氏(狹鹿谷)

監査委員の選任に同意

小西勝之氏(上滝野)

教育委員の任命に同意

大島巧男氏(河高)

藤本謙造氏(多井田)

人権擁護委員の推薦に同意

松本まつみ氏(新定)

固定資産評価委員の選任に同意

時本敏行氏(上田)

選挙

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員

当選人 安田正義市長

**報告第2号 専決処分の報告
(和解及び損害賠償の額を定めること)**

平成26年4月20日午前10時ごろ、加東市天神485番地3、消防団が消火栓のペンキの塗布作業を行ったところ、直後にその上を通過した車両のボディをペンキにより汚損させたもので、自動車の修理代11万2342円を賠償する。

【問】当日の実際の消防団の活動状況の説明を求めぬ。

【答】消火栓蓋にペンキを塗る作業直後に車が通過し、汚損した。

【問】ほかの通過車両から何の苦情もなかったのか。

【答】この車両以外に被害請求はなかった。

【問】今後各消防団にペンキ塗り作業をさせるのか、今後要望が出た地域の部分を専門家に任ずる考えは。

【答】今回の提案は少し時間をかけ、消防団幹部とも一度協議をする。

**承認第1号 専決処分の承認
(平成26年度一般会計補正予算(第1号))**

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出予算それぞれ11万3千円を追加する。

全会一致で承認

第52回臨時会及び第53回定例会議決結果一覧

○…賛成 ×…反対

議案番号	件名	長谷川幹雄	石井雅彦	岸本眞知子	石井正敏	小川忠市	小紫泰良	磯員邦夫	藤尾潔	安田朗	長谷川勝己	藤原文悟	桑村繁則	丸山武彦	山本通廣	二階一夫	井上茂和	藤田靖夫	志方勉	議決結果
承認 第1号	専決処分の承認を求める件(平成26年度加東市一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認(全会一致)
承認 第2号	専決処分の承認を求める件(加東市税条例等の一部を改正する条例制定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認(全会一致)
同意 第2号	加東市副市長の選任の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(全会一致)
同意 第3号	加東市監査委員の選任の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(賛16・反1)
同意 第4号	加東市教育委員の任命の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(全会一致)
同意 第5号	加東市教育委員の任命の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(全会一致)
同意 第6号	人権擁護委員の推薦の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(全会一致)
同意 第7号	加東市固定資産評価委員の選任の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(全会一致)
第31号議案	加東市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(賛14・反3)
第32号議案	加東市介護保険保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第33号議案	加東市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第34号議案	加東市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決(賛15・反2)
第35号議案	加東市税条例等の一部改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第36号議案	加東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第37号議案	加東市臨時又は非常勤の嘱託員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第38号議案	ノート型及びデスクトップ型パソコン購入の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第39号議案	加東市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
第40号議案	小型動力ポンプ付積載車等購入の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(全会一致)
決議案第1号	地域公共交通活性化特別委員会設置に関する決議	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	否決(賛7・反10)

経営報告

加東文化振興財団・夢街人とうじょう

第53回加東市議会定例会は、6月2日から26日までの25日間の会期で開会した。
市長より報告6件の他、一般会計補正予算、特別会計補正予算など10議案が提案され、いずれも原案のとおり可決した。また、議員より「地域公共交通活性化特別委員会設置に関する決議」案が提出されたが、賛成少数で否決した。
18日には一般質問が行われ、12名の議員が市当局の考えを質した。

報告第3号～6号

平成25年度各会計予算を平成26年度へ繰り越したため、繰越計算書の報告を受けた。

◇一般会計Ⅱバス車庫新築工事費他14事業で総額5億8601万1千円

【問】子ども・子育て支援新制度、国の作業が遅れているようだが、スケジュール的には今後どうなるか。
【答】来年の4月施行に向けて国の基準が示されればすぐにかかれるように準備している。

◇介護保険サービス事業特別会計Ⅱ基幹系システム構築業務費に40万7千円
◇水道事業会計Ⅱ三草山山口登山道周辺整備他1事業で3350万円
◇下水道事業会計Ⅱ梶原地内の雨水排水管布設工事費

に1900万円。

報告第7号・8号

(公財)加東文化振興財団及び(株)夢街人とうじょうの平成25年度の経営状況について報告を受けた。
※P5の表参照

◇(公財)加東文化振興財団

【問】デンマーク地方金融公庫の期限前償還について。
【答】最近の円安の進行により期限前償還で利息の400万円を入金し1億円は定期預金に切り替えた。

【問】育成事業で事業数が昨年より増えているが。
【答】分類を変えたため数のカウントの仕方が変わっているが事業数は昨年と変わっていない。

【問】東条コスミックホールは音響効果のいいホールであるが、事業で滝野文化会館や、やしろ国際学習塾も

使用されている。東条コスミックホールはどのように認識されているのか。
【答】3館それぞれ特徴のあるホールなので今後も特徴を生かした利用の仕方をしていきたい。

【問】自主事業収益の1千万円に対する費用がよく分らないのだが。
【答】財団法人から公益財団法人に移行して、経費の区分が3区分に分かれ、うち、公益目的事業会計の経常費用の事業費が公演に係る経費となっている。

【問】実際にイベントに関して収益が1千万円で支出が1億円となるため管理料も事業収益に入っているがこの認識でいいのか。
【答】指定管理料の中にも一部事業費に係る部分があるため、これを事業収入に入れている。そう認識いただけたらと思う。

【問】事業計画で10月までの

分は出ているが、今年度はこれで終わりなのか。若者向けの音楽の企画等は今後の計画の予定はないのか。
【答】下半期にあと1、2事業計画の準備がある。老若男女に合うようにバランスも考えながら今後も協議していきたい。

【問】平成25年度は500万円程の赤字が出ているが、平成26年度は1400万円程の赤字を出して事業を実施する予定か。
【答】平成26年度は受取利息が350万円減り、滝野文化会館30周年記念事業で積極的な予算を組んだ事により平成25年度の520万円の赤字分を翌年度の事業に充て、不足分は今までの期末残高を繰り入れる予算組みになっている。

【問】「コスモスの館」の平成26年度は、従業員の接客マナーの向上や知識の習得を図るとあるが、具体的にどう改善するのか。
【答】開店し、新規採用して日が浅いため、店員自体の接客が不十分である。今後生産者と消費者のマッチングを緻密にしながらす

平成26年度一般会計補正予算(第2号)

【問】防犯灯のLED化に交換の74基は新規にされるのか。
【答】昨年度の調査漏れ分の交換となる。

【問】「ぼかぼ」のボイラーを取替え、エコキュートと太陽熱システムを導入すると燃料費がどれくらい軽減されるのか。
【答】年間約300万円の削減ができる。新たな設備に3500万円程度かかるが、12年で元が取れる計算になる。

めていきたい。
【問】特産館はここ数年、前年度の売り上げを下回っており大きな課題である。具体的にどう改善するのか。
【答】店舗前のコスモスのテントがなくなり、動線が変わったのが一つの要因だが、今後、商品の配置やディスプレイを変えたりして取り組んでいく。

【問】子ども・子育ての例規整備支援業務は業者に委託するのか。

【答】9月定例会に上げるためには7月末には条例のほか、規則等をまとめなければならぬ。時間的な余裕がないため業者に委託する予定である。

【問】こつという作業は役所がすべきで民間に委託するのは納得いかないが。

【答】作成は職員が行なうが、チェックは業者をお願いする。



【問】消防の無線のサイレンはどれくらいあり何年で取り替えるものなのか。

【答】今回修繕が必要なのは滝野地域のみで社地域・東条地域には同型のものはない。整備時期までは把握していない。

反対討論

子ども・子育ての例規整備業務は、市役所の仕事の根本であり民間に委ねる

ことに反対する。(藤尾)

賛成多数で可決

平成26年度病院事業会計補正予算(第1号)

【問】被告は市民病院か。

【答】市が訴えられている。

【問】どれくらいの損害賠償を請求されているのか。

【答】500万円と印紙代3万円になっている。

【問】弁護士費用として病院賠償責任保険から117万5千円収入があるが、費用に増減が発生した場合はどう対処するのか。

【答】弁護士と相談し補正予算に計上した。裁判に要する期間を考慮し、本年度はこれぐらいの費用を見込んでいる。

賛成多数で可決

国民健康保険税条例の一部改正

【改正理由】国民健康保険法施行令一部改正と地方税法施行令の一部改正の施行に伴う改正。

改正内容

後期高齢者支援金等課税限度額を2万円引き上げ16万円にする。

介護納付金課税限度額を2万円引き上げ14万円に。

均等割額を5割減額する基準に世帯主を含める。

均等割額を2割減額する基準を一人当たり10万円引き上げ45万円にする。

【問】改正によりどの程度の影響を見込まれているか。

【答】限度額の引き上げについては500万円程度の増収、2割軽減・5割軽減については600万円程度の減収を見込んでいる。

【問】平成24年度は7701万円の赤字となっている。今回る必要がないと思う。また、偏った負担を強いられると思うが。

【答】国の制度の改正に合わせたものである。

全会一致で可決

パソコン購入の件

新型のパソコンに入れ替え情報セキュリティの向上を図るため、ノート型及びデスクトップ型パソコンを160台購入する。

契約相手方Ⅱ(株)ニチワ 購入金額Ⅱ1606万6728円

【問】セットアップ料金は含まないとのことだが。

【答】市職員が全てセットアップして配布する。

【問】入れかえるパソコンを他で活用する方法はないのか。また、処分はどうするのか。

【答】現在6年で更新を行なっている。最新のOSに入れ替えても動きが遅いため、データを消去処理して売り払い処分する。

全会一致で可決

報告第9号 専決処分報告

平成26年度一般会計補正予算(第3号)

消防団の消防車両と私用車の接触で相手方の車の修理費9万7600円を支払う。

【問】このような事案が最近多いが、消防団にしっかりとした指導をなされているのか市長に伺う。

【答】平素から分団長会にはその旨の指導を行っているが、言い続けるしかないと思う。今後も引き続き指導を行っていく。

全会一致で可決

小型動力ポンプ付積載車等購入の件

登録後17年以上経過した消防車両及び小型動力ポンプを更新する。

小型動力ポンプ付積載車Ⅱ西垂水分団・下久米分団・牧野分団

小型動力ポンプなし軽積載車Ⅱ田中分団

小型動力ポンプⅡ山国分団

契約の相手方Ⅱ(有)岡本ポンプ

購入金額Ⅱ3683万8800円

【問】軽積載車だが、4名乗車で装備品積んで重量は。

【答】1・4t以内と定められている。

【問】オートマチック車でフル乗車で走れるものなのか。

【答】最近オートマ限定の免許保持の団員がおり区長会からの要望もあったため。

【問】ポンプのみを購入する意図は。

【答】ポンプのみ更新の時期がきたためである。

全会一致で可決

決議

地域公共交通活性化特別委員会設置に関する決議

提案理由

現在、市では自主運行バスや東条地域における路線バスの対応、福祉タクシー

事業を行っているが、総合的なまちづくりの観点から抜本的な検討を行う必要があるため設置の提案をした。

【問】特別委員会を設置される理由は。

【答】今後の公共交通は、幅広い現場に関わってこらえるため。

【問】改選まで数ヶ月だが、それまでに結論を出されるのか。

【答】それまでに結論が出なければ引き継ぐという手もある。一刻も早く審議すべきと思う。

反対討論

所管の委員会で審議すべきである。(小紫)

改選までに十分な審議ができるか疑問である。(石井雅彦)

賛成討論

公共交通は全ての分野に関わってくるものであり、特別委員会にて審議するのが妥当である。(磯貝)

期間は関係ない。東条地域からの福祉タクシーでは不十分で総合的に考えるべきである。(二階)

賛成少数で否決

収支計算書

平成25年度

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで

(単位：円)

報告

公益財団法人加東文化振興財団の経営状況

公益財団法人加東文化振興財団が指定管理者となり運営を行っている「やさろ国際学習塾」
「滝野文化会館」「東条文化会館」の決算報告と事業状況の説明を受ける。

科 目	決 算 額	備 考
I 収入の部		
1 基本財産運用収入	4,816,277	基本財産運用利息収入
2 特定資産運用収入	56,250	特定資産運用利息収入
3 会費収入	798,000	法人会員6名 個人会員492件
4 事業収入	138,906,466	
自主事業収入	10,023,466	チケット売上収入
施設管理運営受託事業収入	90,686,000	3館の指定管理料収入(加東市より)
文化事業開催受託事業収入	27,156,000	文化事業開催受託料(加東市より)
受講料収入	7,411,000	音楽教室・バレエ受講料
参加費等その他事業収入	3,630,000	日本木管コンクール参加費等
5 補助金等収入	1,208,575	日本木管コンクール協賛金等
6 雑収入	442,751	予算利息・コピー使用料・物販手数料等
7 基本財産取崩収入	0	
当期収入合計 (A)	146,228,319	
前期繰越収支差額	44,625,794	
収入合計 (B)	190,854,113	
II 支出の部		
1 公演等の開催事業費支出	112,046,077	イベント・セミナー等の開催事業費支出
2 友の会事業費支出	851,770	友の会運営経費
3 管理費支出	27,783,439	人件費・修繕費・光熱費・委託料・通信運搬費
当期支出合計 (C)	140,681,286	
当期収支差額 (A) - (C)	5,547,033	
投資活動収支差額 (D)	-1,955,460	
次期繰越収支差額 (B) - (C) + (D)	48,217,367	

- ★振興普及事業……キタ・タロー、押尾コータローコンサート、きらめきシネマ等 12 事業、31 公演
- ★育成事業……バレエスクール・バイオリン教室・講座・加東音楽めぐり等 7 事業、5 教室、28 公演
- ★日本木管コンクール……クラリネット部門 全国から 121 名参加

■施設の利用状況■

()は昨年度値

施設名	使用日数(回)	利用者数(人)
やさろ国際学習塾	628 (595)	28,564 (29,239)
滝野文化会館	495 (590)	25,508 (27,982)
東条文化会館	591 (622)	19,680 (17,933)

平成25年度決算報告書(損益計算書)

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		308,938,312
【売上原価】		
期首棚卸高	5,592,722	
仕入高	216,759,177	
合計	222,351,899	
期末棚卸高	5,559,240	216,792,659
売上総利益		92,145,653
【販売費及び一般管理費】		90,493,397
営業利益		1,652,256
【営業外収益】		
受取利息	39,608	
雑収入	1,492,516	1,532,124
【営業外費用】		
雑損失	19,431	19,431
経常利益		3,164,949
【特別損失】		
特別償却	1,185,000	1,185,000
税引前当期純利益		1,979,949
法人税等充当額		677,346
当期純利益		1,302,603

報告

(株)夢街人とうじょうの経営状況

道の駅とうじょうの指定管理者となっている「(株)夢街人とうじょう」の経営状況について報告を受ける。

■平成25年度利用状況■ ()は昨年度値

施設名	営業日数	利用者数(人)
特産館	343(328)	52,525(55,808)
レストラン	361(354)	54,328(49,655)
コンビニ	365(365)	321,209(295,146)
コスモスの館	323(302)	88,140(77,170)
合計		516,202(477,779)
		108%

※特産館、コンビニ、コスモスの館はレジ回数、
レストランは実客数

■会社の概況■(平成26年3月31日現在)

- ①発行株式総数 550株 ②株主数 6
- ③株主と出資状況

株主名	出資状況	
	持株数	持株比率
加東市	275	50.0%
加東市商工会	40	7.27%
みのり農業協同組合	175	31.82%
兵庫県釣針協同組合	20	3.63%
東条農業者連合	20	3.63%
コスモス会	20	3.63%

公共施設適正化計画

策定へ

総務文教常任委員会

所管事務調査

平成25年度の教育委員会点検と評価について

平成25年度のスローガンは、「前年度に引き続き「人間力の育成」としている。評価基準については、担当課で参加者の声、アンケート結果、計画者の意図、満足度等をもとに内部評価として表記し、PDCAサイクルに基づき、次年度事業への継承、発展を目的にして作成している。

また、2名の外部評価委員の所見も頂いているとの説明を受けた。

【問】中学生のトライやる・ウィークは開始から16年経って事業がマンネリ化してきたのではないか。

【答】少しマンネリ化の傾向が見受けられる。

本年度から市の観光協会や商工会の協力のもと、連絡協議会を開催、この事業の趣旨等を理解いただく事業所の拡大に努め、子どもたちの希望に沿うよう努力していく。

【問】小学校、中学校の体育祭の実施時期の変更は検討したのか。

【答】校長会で熱中症対策を十分にとることを確認し、本年度は9月実施で変更はしていない。

今後校長会で時期の変更も含めた検討をしていく。

【問】電子黒板などICTについていけない先生もいると昨年は報告されたが、現在の状況は。

【答】使用頻度において半数程度の教師が週に1・2回使用しており、上達していると思われる。

現在は教室に1台の常設はないが、平成30年をめどに小・中学校の教室に常設される予定であり、さらなる使用頻度を上げていきたい。

【問】「かとう夢プラン」でわくわく英語村という事業があるが、どういった内容か。

【答】現在3中学校に配置されているALTを活用して、コミュニケーション能力の育成という観点で、長期休業中に半日程度実施している。

公共施設適正化計画について

【概要】 本年4月に国から、「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が示され、市の管理する基盤施設、公営企業施設を含む全ての公共施設を対象に、「公共施設等総合管理計画」の早期策定を要請している。

これを受け、市では平成24年3月に完成した公共施設マネジメント白書、平成25年度に検討した施設の方針やあり方等の内容を基に、公共施設適正化計画を本年度に策定する。

①施設個々の将来の方向性
②10年を期間とする年次スケジュール
③新たに必要となる施設の設置に関すること
④施設の統廃合等に伴い生じる機能の集約等に関することなど。

【問】いろいろな公共施設についての具体的な方向性が決定していないが、この段階での市政懇談会への提示は時期尚早で混乱を招くのではないか。

【答】個々の物を残すか残さないかの提示ではなく、現状がこうであって、だから適正化が必要であることを丁寧に説明していく。

【問】策定委員会のメンバーに当初から一般の人や、学識経験者に入っていたか。

【答】昨年度提案を作ったプロジェクトのメンバーを基に当初立ち上げるが、必要に応じて有識者の出席も求められるよう内部の要綱に規定している。

【問】10年を期間とする年次スケジュールだが、計画白書などを作り来年度以降は進めていくのか。

【答】まだ具体的な個々のものについて考えていないが、先行的に取り組んでいく分野を洗い出し、適正化という考えだけでなく、広くまちづくりを考えたなかで進めていきたい。

早く整備できれば、8月1日の運用計画を前倒しする。

平成二十六年職員採用試験の実施について

【概要】 第2次定員適正化計画に基づき職員採用を実施してきたが、諸事情により計画どおりの採用ができていない。今年度は、複数回化、多様化を図り新規採用を確保する。

なお、10月採用は、タワージャズジャパン西脇工場従業員の雇用機会も図る。

- 第1回平成26年10月採用
 - 一般事務職 若干名
 - 建築職 1名
 - 土木職 1名
 - 障害者雇用 若干名
 - 保健師 1名
- 第2回平成27年4月採用
 - 一般事務職 (前期) 5名程度
- 第3回平成27年4月採用
 - 一般事務職 (後期) 2名程度
 - 民間企業等職務経験者 2名程度
 - 一般事務職 (高卒) 1名

生活道路整備補助制度の拡大

産業建設常任委員会

所管事務調査

生活道路整備補助制度の改正について

生活道路の現状

認定基準は、有効幅員がおおむね2m以上の地区が管理している道路で次のいずれかに該当している道路。
 ・起点または終点が国、県、市道及び農道のいずれかに接続し、人家が2戸以上利用している道路
 ・公共施設または地区公民館、広場等の公的施設に連絡している道路

改正の趣旨

現行の生活道路補助制度は、路面舗装の新設及び全面舗装補修のみを対象としている。そのため、生活道路の舗装整備は進んでいないが、緊急車両の通行に支障がある路幅の狭い道路の改良は行われていない。現行の制度では、費用の全額が地区の負担となることが大きな要因と考えられる。改善策として、補助制度を拡充し、地区負担の軽減を図ることにより生活道路の機能強化と利便性の向上を図る。

今回拡充分

・道路側溝の新設、補修工事（蓋掛補修も含む）及びこれらの工事に係る付帯工事
 ・道路擁壁の新設、補修工事及びこれらの工事にかかる付帯工事
 ※補助率（1/2以内）の変更はない

補助対象外

・用地費等
 ・3年以内に市が公共事業として整備を行う予定のあるもの
 ・施行箇所の下流の排水に支障のある側溝工事

・同一箇所、同一工種の補修で、この制度の補助対象となった補修工事の施工後10年以内のもの
 ・施行日平成27年4月1日



加東市マスコットキャラクター「加東伝の助」

公園施設長寿命化修繕計画について

（目的）国の動向を踏まえ、次の3つを主な目的として加東市公園施設長寿命化計画を策定した。

・長期的な公園機能の安全性の確保

点検、補修、更新を計画的に進めることで、公園機能を保全し、安全性を確保する。

・補修と更新費用の平準化

予防保全管理を導入し、損傷が顕在化する前から補修及び更新を計画的に実施することで、補修等に要する費用の平準化を図り、年度ごとの財政的負担の差を縮小する。

・長寿命化でコスト削減

これまでの事後保全型管理から予防保全型管理に転換することで、公園施設の長寿命化を図り、中期的な維持管理費用の削減を図る。

水道事業（嬉野東地区）実施要望と今後の対応について

嬉野東地区概算事業費で給水管理設後の道路工事について半幅舗装復旧の説明を聞いた。

公園施設長寿命化計画案（年度別対策費）

単位：百万円

計画	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	合計
長寿命化対策費	112	122	117	128	107	111	124	114	125	129	1,189



東市道の駅に関する市民アンケート調査結果の概要（傾向）

・普段、市内で買い物している市民が多く、最もおすすめできる購入先は「ふれすこ社」が約53%

・道の駅で求める機能、サービスは、「地元農産物が購入できる」が最も高く約6割を占めている。他に、地元特産品（加工品）、日本海や瀬戸内海の海産物などの購入

・魅力ある農産物直売所を整備した場合、ほとんどの市民が「道の駅を利用したい」と回答しており、約5割の市民は「週に1回利用する」と回答

・食に関する施設へのニーズは、「焼き立てのパン屋」「食べ放題のレストラン」「窯で作るピザ屋」などが高い

・「農」に関する活動は、7割近くの市民が何らかの活動に参加や関心があり、「収穫体験」「地元の方が教える食の教室」などの割合が高い

・加東市の特産品を活用したギフトセットの販売は、約54%の市民の利用意向がある

国道175・372号交差点周辺活性化基本計画の加

「東条鯉こいランド」南山地区へ新築移転

～児童館と託児所の併用型施設を検討～

厚生常任委員会

所管事務調査

【東条鯉こいランド】の移転について

【現状】市の児童館及び同機能をもつ施設は旧町単位で3か所ある。社児童館、滝野児童館は専用施設で運営している。

しかし、東条鯉こいランドは、東条公民館を間借りしているため、子ども用のトイレが無いなど設備面が不十分であるのと合わせ、入館者数の増加（H25年度はH23年度比較し倍増）によりかなり手狭状態である。

【移転場所】「道の駅とうじょう」南側の土地を都市再生機構から購入してコミュニティ広場として整備し、その一角に新築移転する。

【施設概要】1階は児童館と地域住民や工業団地進出企業のニーズを踏まえて託児所を配置。2階には多目的室を整備する予定。

【整備方法】早期の供用開始が必要ことから民間活力（PPP方式）を活用して整備する予定。

【問】PPP方式の活用に至った経緯は。

【答】都市再生機構が平成30年度までの完売方針を出した。それまでに整備をすることにより企業の進出促進への期待を込めている。

【問】託児所機能は進出企業による管理・運営を予定しているが、企業の目星はついているのか。また、採算面でのリスクが大きいのではないか。

【答】プロポーザル方式で公募する方針だが、整備は地域振興課の所管であり事業者等は聞いていない。採算面では、成り立つのではないかと感触をつかんでいる。

【問】現状をみれば整備は必要である。公共施設適正化の議論の中で調整はされているのか。

【答】公共施設適正化の中では統廃合を中心に諮られている。東条鯉こいランドについては、新たに整備するという方針なので適正化の中では反映されていない。

平成25年度加東市民病院事業決算見込みについて

【入院】神経内科は、認知症疾患医療センターをフル稼働するために外来を優先したため、入院患者が3687人減少した。

外科は、医師3名の退職、整形外科は、前年度は非常に無理な勤務をして収益増に努めたが、平成25年度は医師の健康管理面に配慮し、入院患者を抑えたため、それぞれ1806人、1702人減少。

【外来】泌尿器科は、医師退職により2153人減少し、外来全体では4755人減少。

【問】平成25年3月末で神経内科の医師2名が退職した

【問】平成25年3月末で神経内科の医師2名が退職した。現在はこの収益額は健康管理上の配慮で抑制したが、

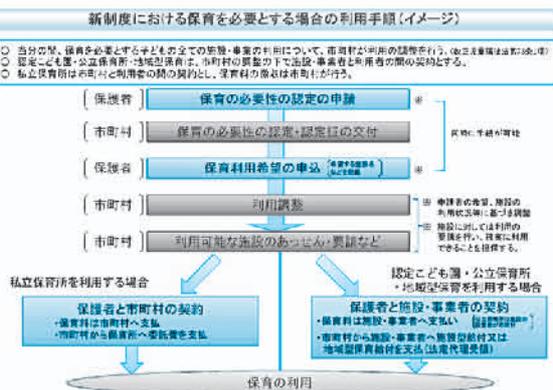
金岡院長より

が、早めに当初予算の見直しをすべきではないか。
 【答】経営健全化基本計画評価委員会でも検証し、予算の見直しを予定している。
 【問】特別利益を加えても1億8千万円の赤字ともなれば現金の資金繰りは大丈夫か。
 【答】3月末時点での現金残額は約1億3700万円であるが、工事の支払い等で資金繰りが苦しい状況は確かである。

平成24年度は、常勤医師一人あたり毎月1075万円を収益目標とした。昨年は健康管理上の配慮で抑制したが、

平成25年度
加東市病院事業会計決算見込
[単位:千円]

収	入院収益	951,631
	外来収益	475,530
	その他	194,571
益	医業外収益	232,666
	特別利益	150,000
収益合計(A)		2,004,398
費	給与費	1,343,955
	材料費	249,325
	その他	543,815
用	医業外費用	46,270
	特別損失	1,782
費用合計(B)		2,185,147
収支差引(A-B)		▲180,749
年間延入院患者数年間		29,719人
延外来患者数		55,953人
病床稼働率		58.6%
給与費比率		82.9%



【背景】急速な少子化、地域や家庭の子育て力の低下、親の就労状況の違いによる教育・保育の提供体制の違いなど子育て環境をめぐる課題がある。

【概要】消費税率引き上げの財源を活用し、幼児期の教育・保育など子育て支援を総合的に進める仕組みを構築し、待機児童の解消や子育て支援の質・量を充実させる。

子ども・子育て支援新制度移行について

第6回 議会報告会

第6回議会報告会を、5月17日(土)加東市庁舎3階201会議室にて開催しました。参加された皆様から活発なご質問、ご意見、ご要望や提言等をいただきました。また、アンケートにご回答いただいた内容につきまして、今後の議会活動に反映してまいります。本紙には主な内容のみを掲載しております。ご協力ありがとうございました。

議案説明に関する質疑応答

【問】加東市は公共料金が高い(上下水道・介護保険料・国保税など) 予算の一般財源が多すぎるのではないかと、介護保険料は、加東市の場合、認定率が高いことと、サービス利用率が高いため他市に比べると高くなっている。

【問】財政指標が作成されていないのは市の職員が知らないからではないか。

【答】加東市では、平成20年度決算から総務省方式改訂モデルに基づき、財務書類4表を作成、公表している。また、健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられている。決算状況・財政状況資料集など総務省HP、加東市HPで公表されているため行政監査をする必要はない。

【問】公共施設「東条グラウンド」の借地料は。

【答】公共施設の借地料は一年毎に契約している施設が多く、施設毎に見直しを協議している。東条グラウンドの借地料は年間653万6816円である。

【問】農村地域減災・防災対策の内容は。

【答】国の緊急経済対策補正予算に対応して、総合的な防災・減災対策を実施し、災害に強いまちづくりの総合対策として、農村防災施設等の整備に必要な調査や整備事業を実施するもので、横谷広谷池、吉馬滑下池の調査計画事業。又池、奥ノ池、天神池、御所谷新池、下り藤池等の整備事業。

意見交換会

【問】小野市の市長がコミバスの広域連携を言われているが、天神電鉄小野駅線は今後どうなるのか。

【答】小野市の方針が変わったためやむを得ない状況であるが市の責任で運行している。今後、天神からバスの運行が予定されている。

総合的な観点から引き続き研究していく。

【問】米田ふれあいバスの件で、神姫バスとの協議を進めて、途中乗降が出来るようになればもっと利用者が増えると思うが、また、運転者の責任について、事故があつた場合に運転者に負担がかかり心配だ。市民の負担が多いようでは長続きしないのでは。

【答】他市の事例等も参考にしながら検討していく。また、運転者の件はプロに委託するのも選択肢の一つと思うが引き続き調査研究していく。

【問】米田ふれあいバスは一人乗せるのに5千円かかる。また、きよみずバスの場合には8千円かかるがどうか。

【答】ある程度の費用はかかるが、福祉行政、高齢者の足を確保する市としての使命がある。今後、公共交通について加東市に相応しい独自の交通システムの構築に向けて調査研究していく。

平成24年度決算に基づく健全化判断比率等について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行により、毎年度、健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の審査に付した上で、議会に報告するとともに、公表することが義務付けられています。

加東市は、平成24年度決算に基づく健全化判断比率の4比率は、いずれも「健全段階」にあり、各公営企業につきましても、資金不足を生じていないため、資金不足比率は該当しない団体となっています。

(単位：%)

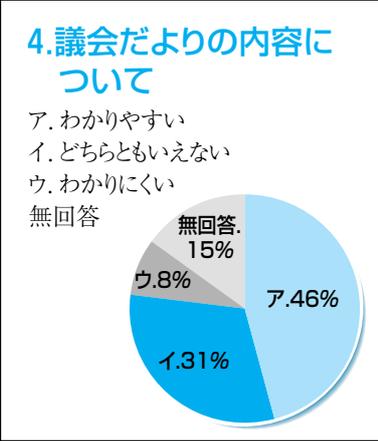
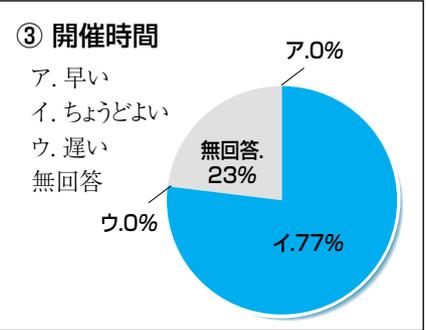
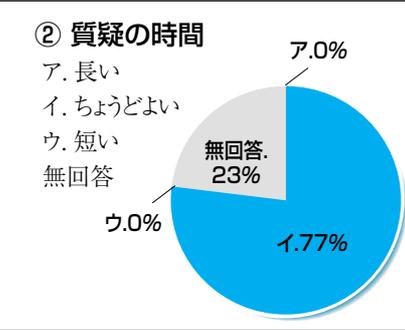
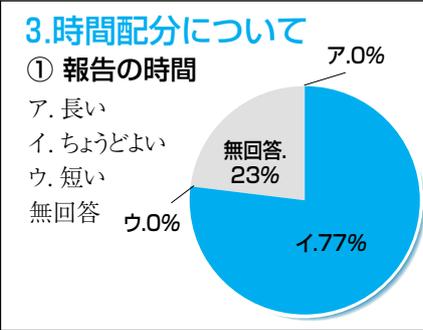
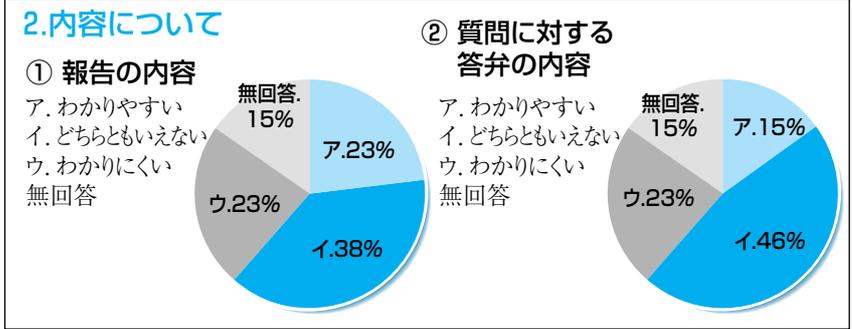
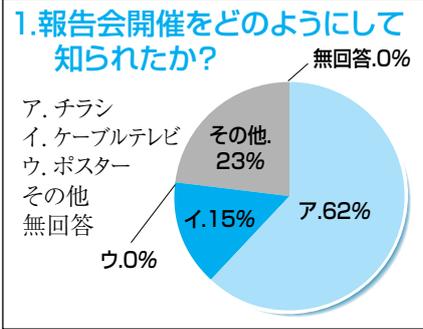
	平成24年度決算	早期健全化基準	財政再生基準基準
実質赤字比率	- (△ 5.98)	13.08	20.0
連結実質赤字比率	- (△32.90)	18.08	30.0
実質公債費比率	11.1	25.0	35.0
将来負担比率	- (△28.8)	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支がともに赤字となっていないので、比率を「-」と表しています。()は参考比率で、△は黒字を意味します。また将来負担比率はマイナスとなるため、比率を「-」と表記しています。()は参考比率です。

財務書類4表を作成、公表しています

加東市では、平成20年度決算から総務省方式改訂モデルに基づき、財務書類4表を作成、公表しています。

設問及び回答



報告会の様子

ご意見・ご要望 参加者の皆さんから、貴重なご意見・ご要望をいただきました。今後の議会活動に反映してまいります。
(会場で発言された意見やアンケートに記載されている事項を原文のまま、まとめました)

- ・プロジェクターの画面がわかりにくい。
- ・大門地区の参加者より、大門橋の架け替え早期実現を求める。
- ・とどろき荘の件等、指定管理者制度の見直しをすべきでは。
- ・新庁舎の建設費に関わる最終的な報告を市民に説明してほしい。
- ・議員減少の流れの中、課題は増加する現状であり益々議員の役割の重要性が増してくる。
- ・それぞれの課題について論点整理はなされたのか。
- ・個人的な意味不明の発言が見られますので司会者が整理して欲しい。
- ・映像の文字が鮮明でないので工夫して下さい。
- ・大多数の議員の皆さん眼が悪い方が多いですね、眼を大切にしてください。眼は口ほどに物を言う。
- ・河川に魚道を!上流に田んぼダムの横転開を!
- ・間伐材の処理、里山の保水力、ブナのような木の植林など必要だ。
- ・名前を紹介する時、自分の名前を大きな声ではっきりと言って下さい。
- また答弁する時も何を言っているのかわかりません、難しい言葉でなく平易な言葉でお願いします。
- ・説明は議会だよりの内容とほぼ同じであった、各課題については数値を使って説明する方が良いと思った。頑張ってください。
- ・コミバスについて考えてください。
- ・ぼかぼ・とどろき荘に行くバスの連絡をお願いします。



公契約条例を
制定するについて

磯貝 邦夫

問 公契約条例制定について問う。

答 労働者の賃金や働く環境や安全等を考慮し、来年度に条例を制定する旨、担当課に指示をしている。加東市にあった規模工事の発注状況や内容等を勘案しながら進めていきたい。

その他の質問

□公債権、市税5億9200万円の滞納について
□定住自立圏構想における加東市の認識について



高齢者福祉について

小川 忠市

問 安田市長は、市政二期目の決意として「市民の安全・安心を最優先に、市の発展に全力を尽くす。」と述べられたが、改めて「高齢者福祉」に対する市長の所信を問う。

答 「高齢者福祉の推進と介護サービスの充実」は、平成26年度の施政方針でも主要政策として取り組んでいることを述べており、これまでもこれからも時代の要請に対応した高齢者福祉の充実に努めていく姿勢に変わりはない。

新庁舎の避難訓練について

問 新庁舎には全面開庁以来、多くの方が訪れる機会が増したが、危機管理として避難訓練等を実施する必要があるのではないかと。

答 新庁舎は防火対象物に該当することから、消防計画を策定している。その計画の中で年一回の避難訓練を実施することとなっており、今年7月18日に予定している。市職員の消火、誘導、通報訓練等と合わせ加東消防署の特殊車両を使用した救出訓練も実施する予定である。

その他の質問

□障害者優先調達推進法について



消防避難訓練の様子



介護保険の算定について

石井 正敏

問 介護保険の算定で、保険料の負担に不公平感がある。保険料の算定に係る所得段階の分け方は、国の方針で7段階なのか。

答 国が示す標準の所得段階は6段階で、市は、市町村税本人課税層の第6段階を2つに区分けし、7段階の保険料率を設定することで、高所得者だけに負担をかけすぎず、低所得者にも配慮して、すべての人に負担を分散し、全体のバランスを考えた所得段階にしている。平成27年度は保険料基準額の見直しの時期で、できるだけ不公平感のないよう、きめ細かい所得段階に努めていく。

都市公園の環境整備について

問 市内には68箇所の公園があり、社地域には20箇所のうち、9箇所には公衆トイレが設置されていない。特に、千鳥ヶ丘公園に公衆トイレを設置することが当然必要と思われるが、当局として設置する考えがあるか。また設置基準はどうか。

答 街区公園の標準面積2500㎡より小規模な1124㎡であり、利用範囲が街区居住者であるため、トイレは設置していない。

その他の質問

□日本酒需要拡大に伴う酒米増産体制の確立について
□水田フル活用へ飼料米振興について





福田橋の撤去に伴う
国道の設計変更について

志方 勉

問 国道の開通により、県は、福田橋を老朽化などにより、すぐには撤去しないものの、撤去する方針である。このため、国道から市道への取り付け道路の設計変更を提案するが、見解を問う。福田橋を少しでも長く利用できないか。また、バスルートについては、駅の近接部で発着できるよう調査、検討の結果は。

答 地元より県に対し、福田橋存続の強い意見や要望があり、市としても重く受け止めている。提案の国道改築案も案の一つとして県へ提案する。福田橋の当面の対応として、通過車両を減少させるための対策を実施する予定であり、また、バスルートは、福田橋に関わる動向に連動しており、今後の課題であると聞いている。今後、地元の意見を踏まえ、県及び地元と十分な協議、検討を重ねるべきと考えている。

その他の質問

□ 新たな市道認定基準の策定について



朝の福田橋



健康歩道の修復と
健康遊具設置について

長谷川 勝己

問 固定した小石の上を歩き、足のツボを刺激し健康になつていただく「健康歩道」が市内に8箇所あるが、一部に小石の抜け落ちた所もある。

また、健康遊具を設置した公園が全国的に増加している。市内の公園を、より有効活用し健康保持を目指していただく等、市民の皆さんに愛され親しまれる公園づくりのため健康遊具を設置してはどうか。

答 市の管理する公園は、平成27年度から始まる「加東市公園施設長寿命化修繕計画」に基づき健全度が低く緊急性の高い施設から順に修繕を計画しており、健康歩道、遊具や使用説明看板についてもその必要性を見極めながら進めていく。

新たな遊具の設置については、その公園の用途によって種類が決められるが、老朽化した遊具と同様のものを更新するだけでなく健康遊具の設置も考慮していきたい。

その他の質問

□ 「徘徊ネットワーク」づくりについて



背筋を伸ばす健康遊具「背のばしベンチ」(社中央公園)



学校給食における
食物アレルギー対策について

長谷川 幹雄

問 加東市におけるガイドラインの周知の現状と今後の取り組みの方向性を問う。

答 アレルギー性疾患の園児、児童、生徒への対応は、非常に重要な課題であると認識している。学校のアレルギー性疾患に対するガイドラインの周知については、適切な対応がなされるよう各学校長に周知徹底を図っている。

管理職、教諭が研修会に参加し、特に各学校の養護教諭は全員が研修を受け、事故防止策と緊急時の適切な対応ができる。

アドレナリン自己注射薬(エピペン)を処方された園児、児童が在籍する学校・園は危機意識を持っており、学校医との密接な連携・指導のもと、全教職員が速やかに緊急時の対応ができるよう体制を整えている。

加東市学校給食センターでは、毎年度各学校・園に食物アレルギーのある園児、児童、生徒の調査を依頼し、原因食品、主治医を個別に把握し、詳細な献立や弁当による対応をしている。

その他の質問

□ 支援助資供給の円滑化について



エピペン



子育て支援について

岸本真知子

問 講演会や講座・学習会・イベントなどの会場に、子どもさんの託児をする託児サポーターを派遣することで子育て世代の活動参加の促進、また、マイツリーペアレンツプログラムなどの充実・回復にも繋がると思われるが。

答 市の様々な講演会やイベントなどにおける託児の必要性は認識している。ファミリー・サポーターセンターの協会員が託児サポーターをされていることもある。同協会員の中で特別チームのような形で位置付けができないものか子育て支援の観点から研究する。

防災訓練について

問 操法大会ではどの地区も操法を見事に実演されている雄姿を、特に地域の子ども達に見せる機会はないものか。

答 消防団の力強い操法訓練の様子などを見てもらうことは消防団の将来的な発展に寄与するものと認識している。移転計画のある新加東消防署で操法大会に使用する専用のスペースを確保する計画の中、市民イベントとして大会を運営できるように配慮も加えたい。



操法大会 開会式



加東市の将来若年女性 激減予測について

小紫 泰良

問 「将来若年女性激減予測」は、国立社会保険・人口問題研究所が昨年公表した将来推計人口を基に、子どもを産む中心の世代である若年女性の数を有識者らでつくる「日本創生会議」の分科会が試算。2040年に2010年と比べて半数以下となる自治体は全体の49・8%に上っている。

この厳しい数字を受け、加東市でも今まで以上の定住促進、子育て支援をする必要はないのか。
答 加東市の若年女性減少率の予想数値は、26・4%であり、兵庫県下の中で数値は良い方であるが、それでも高い減少率であり危機感を持っている。

今までの定住促進の取り組みとして、子育て支援と就労支援に加えて、市民の安全安心を最優先にまちの活力と賑わいづくりの推進、教育環境の充実、定住自立圏構想など新たな取り組みにより、人口の流入と定住化を図り、魅力あるまちづくりを進めていく。

その他の質問

□消費税引き上げによる市財政への影響及び今後の対応について



夏に向けての 防犯対策について

石井 雅彦

問 青色防犯パトロールカーによる最近のパトロールの状況は。

答 市の管理職員、青少年センターの職員が市内の児童・生徒の下校時に、年間三〇〇回を超える巡回体制でパトロールにあたっている。

問 西脇市では、市の公用車10台に青色回転灯を設置し、職員の外出時に乗車して防犯の啓発に備えているが。

答 加東市では、市の公用車5台の他に防犯協会、防犯委員所有の車両合わせて22台にて啓発に努めている。

問 その他、加東市独自の防犯対策は。

答 地区の公民館のセンサーライト設置の補助や、また、本年度は防犯灯を新たに421灯設置する。防犯カメラを昨年度は3箇所を設置したが、本年度は6箇所を設置し、ハード面での防犯体制の強化をはかっている。



防犯協会所有の青色防犯パトロールカー



「新たな道の駅 整備計画」について

藤田 靖夫

問 道の駅の整備と商業ゾーン活性化事業の取り組みは加東市の「活力ある社会を目指して」「活力ある地域づくり」を生み出す起爆剤となると期待している。

答 今回の基本計画策定支援業務委託については、業務内容を見ると大変な事務量であるが完成するのか。

問 整備に対する市の考えや意見、コンセプト等は示されていないがそれでいいの。また、消費者や生産農家の声・既存事業者の意向等は検討し反映されるのか。

答 当初予定していたよりも大幅に期間は伸びると考えている。候補地の決定や農振法の関係等、また、アンケートの分析等に時間がかかる。よいものを作り上げるために、時間をかけたいと思っている。

問 市の考えや方向性については、業務を進めていく中で協議したり関係団体等の意見を取り入れられたりしている。今後も加東市としての強みを基本として、広域的な観点や、県民局とも連携しながら検討し、最終的には市が決定していく市としては「道の駅」を拠点として、市内の各施設や観光名所などの連携を密にして交流人口を増やしたいと考えている。



国道175号・372号交差点付近



東条地域の バス路線の拡充について

二階 一夫

問 バス路線の拡充は、誰が、何のために必要としているのか。地域住民が満足する事業か。

答 現在朝夕のみ運行している路線バス「天神電鉄小野駅線」の車両を利用した取り組みで、「天神」を起点に、昼間、東条地域内を走行する既存の路線バスと組み合わせることで、社や三田、大阪、三宮などへ出かけることができ、また、地域内の通院や買い物などにも利用できるダイヤを設定し、東条地域の皆様の生活手段となるよう計画した。

東条地域の道路整備について

問 東条地域の県道小野藍本線の早期完成を目指し、市は県に対し、どう対応しているのか。

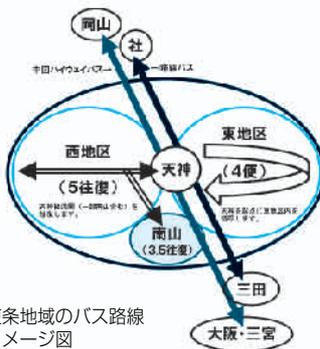
答 松沢バイパス、厚利地内、揖鹿谷については、今後も県と協調しながら進めていく。

問 小野市中谷町から大畑に接続された道路と南山からの山麓線への接続の計画はどうか。

答 現在のところ、計画としてはない。

問 厚利社線の栄枝から依藤野間の坂道の歩道設置の計画はどうか。

答 平成26年度からの県の計画には、歩道設置の計画はされている。



東条地域のバス路線イメージ図



介護保険の見通しについて

藤尾 潔

問 介護保険料は、市で使われたサービス量や要介護認定率にそのまま関連する。今までのように、介護サービスの充実という視点だけで物を見れば、介護保険料が上がって行く一方である。埼玉県和光市の事例では、地域ケア会議で個々のケアプランを精査し、自立支援につなげ、介護保険料の上昇を抑制している。加東市の次期計画における自立支援の考え方について問う。

答 支援から自立へ、の考えのもと介護予防事業の普及拡大、地域ケア会議での介護予防プランの点検を行い、高齢者のQOL（生活の質）向上を念頭に置いた計画としたい。

公共施設統廃合について

問 具体案について、市民への説明はどうするのか。説明会を開くべきだ。

答 年明けまでに具体案をまとめ、パブリックコメントで市民の意見を聞く。CATV、概要版配布等、様々な方法により説明を行う。



議会日誌

〈主なもの〉

4月

- 2日 議会報告会実行委員会
- 3日 議会広報委員会
- 11日 東播・淡路市議会議長会定例会
- 15日 近畿市議会議長会

定期総会前理事会

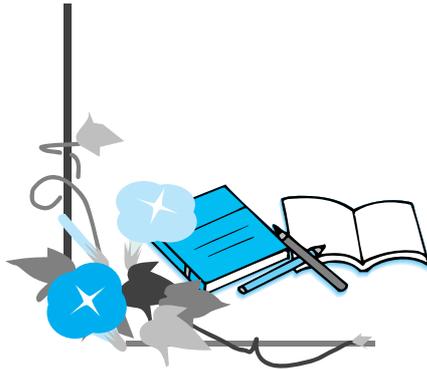
- 15日 近畿市議会議長会定期総会
- 16日 議会広報委員会
- 17日 議会報告会実行委員会
- 22日 議会広報委員会
- 22日 安来市議会行政視察来庁
- 25日 西脇市議会行政視察来庁
- 28日 産業建設常任委員会
- 30日 議会報告会実行委員会
- 30日 兵庫県市議会議長会定期総会

5月

- 8日 議会報告会実行委員会
- 9日 議会運営委員会
- 14日 第52回臨時会
- 14日 全員協議会
- 17日 第6回議会報告会
- 20日 厚生常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 全員協議会
- 27日 全国市議会議長会理事会
- 28日 全国市議会議長会定期総会

6月

- 2日 第53回定例会（1日目）
- 2日 議会運営委員会
- 5日 総務文教常任委員会
- 6日 産業建設常任委員会
- 6日 議会広報委員会
- 9日 厚生常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 18日 第53回定例会（2日目）
- 20日 議会報告会実行委員会
- 26日 第53回定例会（3日目）
- 26日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 議会広報委員会
- 30日 流山市議会行政視察来庁



兵庫県功労者表彰

このたび、藤田靖夫議員が、町議会・市議会議員として15年以上在職し、議員として長きにわたり議会制度の高揚、地域の振興及び住民福祉の向上に尽力したとして、兵庫県知事から表彰されました。



本会議の放送予定

コミュニティチャンネル（702ch）を利用して、完全版の録画放映をしています。ぜひご覧ください。なお、今回の議会だよりに記載されている内容については、以下の日程で放映される予定です。

日 時	内 容	
8月10日(日)9:00	6月定例会(第1日) 議案審議	再放送18:00
8月15日(金)9:00	6月定例会(第2日) 一般質問	
8月17日(日)9:00	6月定例会(第3日) 議案審議	再放送18:00
8月22日(金)9:00	総務文教常任委員会	再放送18:00
8月24日(日)9:00	産業建設常任委員会	再放送18:00
8月29日(金)9:00	厚生常任委員会	再放送18:00

(注:緊急時・イベント等状況により変更になる場合があります)
一般質問(8月15日)の各議員の放映開始時間は、おおむね次のとおりです。

議員名	放送時間	議員名	放送時間	議員名	放送時間
磯貝 邦夫	9:02 : 18:02	長谷川勝己	11:03 : 20:03	石井 雅彦	12:18 : 21:18
小川 忠市	9:36 : 18:36	長谷川幹雄	11:19 : 20:19	藤田 靖夫	12:38 : 21:38
石井 正敏	10:05 : 19:05	岸本真知子	11:36 : 20:36	二階 一夫	13:30 : 22:30
志方 勉	10:47 : 19:47	小紫 泰良	12:04 : 21:04	藤尾 潔	13:52 : 22:52

※市議会ホームページでもインターネット録画配信をしていますので、あわせてご覧ください。

保育園紹介

三草保育園



加東市立三草保育園は昭和27年に開設され、平成15年に新設されました。本園は豊かな自然に囲まれ、四季折々の自然の草花に触れることができ、園から望む山々の変化にも目を向けると心も癒される素晴らしい環境にも恵まれています。三草保育園の保育目標

平成26年7月1日現在の園児数

	人数
0歳児	1人
1歳児	6人
2歳児	14人
3歳児	18人
4歳児	18人
5歳児	14人
合計	71人

は、「心身共にたくましく、何事にも意欲をもって取り組む、最後までやりぬく、そして豊かな心をもった子ども」です。子どもは遊びの中でいろいろな経験を学びます。気候のいい時は園外保育に出かけ、自然に触れることで気づき・感じることで五感が鍛えられます。また、木切れなど拾ってきたものを取り入れ創造することを楽しみ、歩くことで自然と体力づくりができます。

異年齢児との活動を通して、友達の輪を広げていくことで、良いところにも気づく、困っている子にも声かけが出来るという所も育つてきています。4年前からは上福田地区の交流として、三草ふれあい広場（ふれあい喫茶）で年間7回子ども達の歌を披露しています。最初は子ども達が歌うだけでしたが、今では、会場の皆さんと一緒に歌ったり、手遊びをしたりして楽しいひとときを過ごし交流を深めています。そして、いつもお出会いする方から「みんなが、来てくれるのを楽しみにしている」と嬉しい言葉も言っていたり、子ども達や保育士も励まされております。

また、地域の方の厚意により、上福田地区に伝わる民話の紙芝居を作って頂き子ども達の生活する上福田地区の素晴らしい所なども、楽しみながら知っていくようにしています。

これからも、子ども達の健やかな成長を願い、保護者・地域・園と連携をとりながら、この地域ならではの保育を目指したいです。

議会の傍聴にお越しく下さい

加東市役所5階に議場があります。

9月定例会の予定	9月 2日 (火)	9時30分	議案審議
	9月 22日 (月)	9時30分	一般質問
	9月 26日 (金)	9時30分	議案審議

- 5月臨時会は延べ2人、6月定例会は延べ12人の傍聴がありました。
 - 加東ケーブルビジョン(702ch)及び加東市議会HPで生放送もいたしますのでご覧ください。
- ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp> 電子メール gikai@city.kato.lg.jp

編集後記

夏真っ盛りとなりました。夏の行事と言えば、やはり「盆踊り」です。今年も、たくさんの方の事業所や地区で開催が予定されています。

私も太鼓の叩き手として参加させていただきましたが、どの会場も小さい子から高齢者まで浴衣を着て集まって来られ、誰もが笑顔です。「盆踊り」とは、盆の時期に先祖を供養するための行事ですが、今では夏の祭りであり、地区や事業所の大事なコミュニケーションの場となっています。

よく政治のことを「まつりごと」と言います。漢字で書けば「政」ですが、どうも「祭り」と通じていると思えてなりません。

祭りで共に汗を流してこそ、地域がまとまり、住みよい「まちづくり」に繋がっていくと思います。市行政にしても、市民の皆様のご協力やご理解がなければ前に進みません。

まずは、住みよい地域づくりのため、盆踊りに参加していただき、暑気払いをしながら共に「まちづくり」をしてみませんか。



平池公園 夏のフェスティバル

議会広報委員会

- 委員長 石井 正敏
 副委員長 石井 雅彦
 委員 藤田 靖夫
 二階 一夫
 桑村 繁則
 長谷川 勝己
 安田 朗
 小川 忠市

発行 加東市議会
 編集 議会広報委員会
 発行日 平成26年8月1日

〒673-1493
 兵庫県加東市社50番地
 TEL079-543-0085 (直通) FAX079-542-7960